

海賊対処行動水上部隊が無事任務を終え帰港

～ 第47次派遣海賊対処行動水上部隊帰国式典の様相 ～

第47次派遣海賊対処行動水上部隊がソマリア沖・アデン湾に向けて、2024年2月に日本を発つて以来、約6か月ぶりとなる8月9日に呉（広島県）に帰港した。

同隊は、伴昌幸艦長が指揮を執る護衛艦「さざなみ」であり、古川啓輔隊長ら8名の海上保安官を含む、約200名の乗員が事故無く任務を遂行し、無事帰国した。

派遣期間中は、ソマリア沖・アデン湾周辺海域においてゾーンディフェンスで商船の安全を確認したほか、中東地域における関係船舶の安全確保に必要な情報収集活動も行ってきた。

式典では、伴艦長が「一同任務を遂行して無事帰国しました」と帰国報告を行った後、自衛艦隊司令部幕僚長佐藤正博が、「ソマリア、アラビア海、オマーン周辺海域において、中東情勢が悪化する中、人命救助をも含む任務に果敢に挑み、諸官こそ紛れもないヒーローである。ご家族の温かいご支援が大きな力になっている。今後もなお一層の活躍を期待する。」と大町克士自衛艦隊司令官訓辞を代読した。

また、小野雄介第六管区海上保安部本部長は、隊員に対し、今回の任務遂行に最大限の敬意を表する旨の彼末浩明海上保安監の挨拶の言葉を代読した。

当協会からは土屋恵嗣副会長、日本郵船(株) 進藤航海務グループ長、(株)商船三井 山内章裕理事、川崎汽船(株) 遠藤英明安全品質管理グループ長、飯野海運(株) 落岩海務部長、NS ユナイテッド海運(株) 齊藤哲也海務チームリーダー、三菱鉱石輸送(株) 足立憲一取締役、池田康弘安全・環境・品質保証グループ長、国際船員労務協会からは井上会長、今田理事、全日本海員組合から池谷国際局長らが参加し、土屋副会長は「海域の警戒活動、ありがとうございました！」と周辺海域の脅威が高まるなかでの任務に謝意を伝えた。

(海務部 事務局)

帰国行事



帰国した伴艦長と乗員



佐藤幕僚長



小野本部長



伴艦長と土屋副会長



古川隊長と土屋副会長



代表して出席した土屋副会長



無事に帰国した「さざなみ」



今回出席した訪問団